

第3回

議会報告会を実施しました!!

平成27年から議会報告会を開催し、今年で3回目を迎えます。

本年も、議員全員で取り組み、7月2日(日)に下今泉コミュニティセンターとえびな市民活動センター・ビナレッジで、7月8日(土)に杉久保コミュニティセンターで開催しました。

「開かれた議会を目指し、市民の負託に的確に応えられるよう議会活動の状況などについて説明責任を果たすとともに、市民の意見や要望等を広聴するなど、市民との対話の機会を図るため、議会が主体となつて議会報告会を開催する」という目的のもと、合計93名の方に参加いただきました。今年度は、これまで以上に市民の意見を取り取るため、「フリーテーマ」の時間を多く設ける内容で行いました。多くの市民の皆様にご参加いただき、さまざまなご意見とご要望を伺うことができました。



はじめに平成29年度予算の概要説明の中で、議会が予算の決定までどのように関わっているかについて説明を行いました。

市長の施政方針、当初予算の説明に対し、本会議で各会派から代表質疑を行う機会があります。そして、予算の細部に関しては、3つの常任委員会(総務・文教社会・経済建設常任委員会)で審査を1日ずつ行います。その際、1人当たりの質疑時間は、1時間程度となっております。

審査のポイントとしては、事業の必要性や規模に見合った適正な予算になっているかなど、さまざまな視点から審査を行っております。

委員会での審査が終わると、本会議で会派ごとに賛成、反対の討論を行い、採決します。

議会としては、予算成立後も各事業の執行状況などをチェックし、適正に運営されていくかを確認していきます。

第一部 公共施設のあり方について

市では、平成26年11月に策定した「海老名市公共施設白書」を基礎資料として、将来の公共施設のあり方を検討し、再編・適正化を進めるための基本的な考え方や取り組みの方向性を定めた「海老名市公共施設再編(適正化)計画」を策定しました。

多くの公共施設が建設から30年以上が経過しています。将来的には人口減少も想定されている中で、公共施設のあり方についての取り組みをスタートさせました。

コミュニティセンターや文化会館、学校施設などさまざまな公共施設の今後のあり方について、どのように感じ、考えているのかなど、ご意見を伺いました。

いただいたご意見の主なものは、次のとおりです。

- ・えびな市民活動センター・ビナスポの衛生面の厳重管理の徹底
- ・学校の空き教室に学童保育を
- ・運動公園の野球場の賃借や有料化など
- ・下今泉保育園のエレベーターや契約・コミュニティセンター使用時の有料化
- ・中央図書館の図書や視聴覚資料の貸し出しや運営方法
- ・公共施設解体時のアスベスト問題



第二部 その他の市政に対する意見(フリーテーマ)

テーマを決めずに、議会に対してや市政全般に関することについて、ご意見を伺いました。

- ・下今泉門沢橋線の道路整備
- ・厚木駅周辺地区の再開発
- ・自由通路に関する条例
- ・解体時のアスベスト対策をルール化し各部署で共有
- ・フィルムコミッションの導入
- ・地震、水害時の防災対策
- ・親なき後の障がい者の福祉支援策を
- ・海老名出身の先人、大島正健氏を海老名の教育に活用を
- ・子どもたちの「オアシス運動」
- ・中学校の学校給食
- ・議会の開催日程や時間帯
- ・常任委員会のインターネット中継

この他にも、さまざまな意見や提案をいただきました。今後の議会における議論に積極的に活用させていただきます、ありがとうございました。

